

することを目標として、第1次自由化を実施した42年7月を起点に目標時点までの間、1年ないし2年程度の期間において順次実施していく方針である。この方針にそって、45年中に第3次自由化、さらに46年度末までに第4次自由化を実施するという運びが考えられる。

(4)経済協力の積極化

経済協力の積極化については、第4章第7節で述べたが、1970年を迎えるにあたり、いわゆる「第2次国連開発の10年」における経済協力の構想が各方面で策定されつつある。44年4月シドニーで開催されたアジア開発銀行第2回総会において、福田大蔵大臣は、アジアに対する経済協力を5年後までに倍増していきたい旨を述べ、わが国の経済協力に関する努力目標を示した。今後の協力内容としては、特に(イ)多国間協力の活用、(ロ)民間ベースの協力の推進、(ハ)技術協力の推進、(ニ)各種協力の密接な連携が重要である。

10 造幣、印刷、専売行政の動向

(1)造幣行政

近年のわが国経済の成長等によって貨幣需要が著しく増大し、同時にその需要変動幅が拡大する傾向が強くなった。そこで、貨幣製造担当部門である造幣局が貨幣供給の弾力性を保有する必要があるとの観点から、業務量の伸縮が自由な外国貨幣の製造受注をねらいと

して、昭和44年度から現行補助貨幣の海外向け頒布を実施することとなった。44年度の頒布予定数量は、製造能力等の関係から10万セットを限度とし、主要国の政府および中央銀行に頒布するとともに、海外の希望者に対しても、あらかじめ予約を受け付けたいうで製造頒布することとしている。

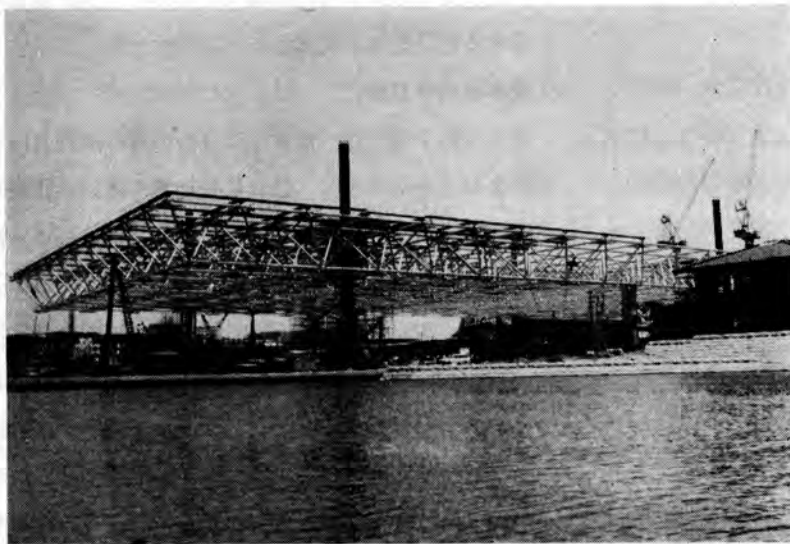
(2)印刷行政

印刷行政については、36年度から41年度にかけて、新鋭印刷機械の導入等設備の近代化と拡充計画が実施された。その結果、印刷設備および技術の面で世界的水準に達することができた。しかし、36年度以前に印刷された紙幣については、技術的に偽造抵抗性が弱いなどの問題がある。特に500円券は、最近の偽造券発生件数において常に上位を占めているため、43年5月、改刷の方針が決定され、44年秋の新券発行を目的に、44年度初めから印刷が開始されている。

(3)専売行政

専売行政については、まず、たばこ消費税制度への移行の問題がある。すでに第5章第2節で述べたとおり、専売事業審議会、財政制度審議会および税制調査会がそれぞれの立場からこの問題を検討し、いずれも専売納付金制度を改正し、たばこ消費税制度に移行すべきであるとの結論に達し、その旨答申を行なった。

大蔵省および専売公社は、44年度から新制度に改めるための努力をしたが、関係者間の調整および関係団体の懸念払拭のため、なおいっそうの時間をかける必要があり、結局、44年度からの移行を見送り、さらに1年間検討を続けることとした。また、同じく第5章第2節で述べたように公社の塩事業については、イオン交換膜製塩法の本格的企業化に伴う国内塩業の根本的再編成が専売行政のもう一つの大きな課題となっている。



建設が進む万国博覧会会場

参考文献

本書下巻の執筆にあたって直接参考とした文献は次のとおりである。このほか、ここには掲載しなかったが、多くの方々の著書、論文などからご教示を得たことを付記しておく。

官報

法令全書

昭和財政史 全18巻(大蔵省昭和財政史編集室編)

昭和財政史資料(大蔵省蔵)

昭和財政史史談会速記録(大蔵省蔵)

戦後財政史史談会速記録(大蔵省蔵)

大蔵省百年史史談会速記録(大蔵省蔵)

財政金融統計月報(大蔵省編)

予算の説明(大蔵省主計局)

国の予算(財政調査会編)

国税庁事業年報書(国税庁)

税務署七十年の歩み(国税庁)

税関八十年小史(大蔵省税関部編)

財政投融资(澄田智、鈴木秀雄編)

大蔵省預金部史(理財局資金課編)

銀行局年報(大蔵省銀行局)

日本人の海外活動に関する歴史的調査(大蔵省管理局編)

造幣局八十年史(造幣局編)

造幣局九十年史(造幣局編)

大蔵省印刷局史(印刷局編)

たばこ専売史(日本専売公社編)

日本塩業史(日本専売公社編)

ファイナンス(大蔵省)

大蔵省機構の説明(大蔵財務協会)

満州事変以後の財政金融史(日本銀行調査局特別調査室)

国民金融公庫十年史(国民金融公庫調査部)

十年の歩み(日本輸出入銀行編)

日本開発銀行十年史(10年史編集委員会)

日本経済年報(東洋経済新報社)

古風庵回顧録(若槻礼次郎著)

井上準之助論叢(井上準之助論叢編集会編)

大正昭和政治史の一断面(片岡直温著)

河田烈自叙伝(河田烈自叙伝刊行会)

芳塘随想(津島寿一著)

聖山随想(青木一男著)

回顧七十年(深井英五著)

通貨調節論(深井英五著)

金本位離脱後の通貨政策(深井英五著)

財界回顧(池田成彬述)

蒼天一夕談(桜内幸雄著)

税界回顧(松隈秀雄、税務弘報所収)

占領下の日本財政覚書(渡辺武著)

高橋是清伝(今村武雄著)

三土忠造(広瀬英太郎編)

井上準之助伝(井上準之助論叢編集会編)

池田成彬伝(金融経済研究所編)

小倉正恒(小倉正恒伝記編集会)

石渡荘太郎(石渡荘太郎伝記編集会)

近衛文麿(矢部貞治編著)

金輸出解禁史(大阪銀行問題研究所編)

昭和の大蔵省外史 上・下巻(有竹修二著)

現代日本財政史 全4冊(鈴木武雄著)

税の理論と実際(渡辺喜久造著)

不 許
複 製

大 蔵 省 百 年 史 下 卷

昭 和 44 年 10 月 1 日 印 刷
昭 和 44 年 10 月 10 日 発 行

編 集 大 蔵 省 百 年 史 編 集 室
発 行 財 団 法 人 大 蔵 財 務 協 会
印 刷 大 蔵 省 印 刷 局

発 行 所

東 京 都 新 宿 区 四 谷 本 塩 町 2
財 団 法 人 大 蔵 財 務 協 会
振 替 東 京 126840 T E L (353) 2711~6